

白杵市 施策評価シート
(令和3年度)

評価 担当者	課名	氏名	内線
	部落差別解消推進・人権啓発課	小坂 幸雄	3170

コード	V-16-35	施策名	同和問題(部落差別問題)に対する正しい理解
施策の方針	一人ひとりの人権が尊重されるまちをつくる		
まちづくりの方針	磨き輝き続ける市民がつながり、白杵っこが育つまち(学び)		
5年後のめざす姿	市民一人ひとりが同和問題(部落差別問題)に関心を持ち、正しい理解により差別を許さない意識を広めていくことで部落差別の解消をめざします。 だれもが平等に生きる権利を保障するために、部落差別解消を目的とし、不当な差別を許さない社会を築くため、学習の機会を確保し、確かな知識と実践力を身につけることのできる教育・啓発及び指導者の充実を推進します。 学校においても、「部落差別の解消の推進に関する法律」の趣旨を理解し、必要な教育及び啓発に努めます。		
施策の内容	誰もが平等に生きる権利を保障するために、部落差別解消を目的とし不当な差別を許さない社会を築くため学習の機会を確保します。 差別をなくす運動月間における講演会の市民参加や企業・地域を対象にした人権・部落差別問題の研修会等を充実していきます。		

<指標>

新規 指標	指標名	説明・算式・引用	実績の推移						
			単位	R1	R2	R3	R4	R5	R6
登録型本人通知制度の事前登録者数【累計】	市民課及び市民生活推進課の登録台帳	市民課及び市民生活推進課の登録台帳	目標	人	3,700	4,000	4,300	4,600	5,000
			実績		3,495	3,693	3,838		
			達成率	%	99.8%	96.0%			
企業・団体で行う研修会の実施回数	部落差別解消推進・人権啓発課事業実績	部落差別解消推進・人権啓発課事業実績	目標	回	50	55	60	66	66
			実績		48	12	18		
			達成率	%	24.0%	32.7%			
同和問題(部落差別問題)についての授業を実施した小・中学校の割合	市内の小・中学校の中で、部落差別問題についての授業を実施した学校の割合	市内の小・中学校の中で、部落差別問題についての授業を実施した学校の割合	目標	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
			実績		100.0	100.0	100.0		
			達成率	%	100.0%	100.0%			
新たに白杵市に転入または、管理職に昇任した教員のフィールドワーク参加者率	新たに白杵市に転入または、管理職に昇任した教員のうち、フィールドワークに参加した者の割合	新たに白杵市に転入または、管理職に昇任した教員のうち、フィールドワークに参加した者の割合	目標	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
			実績		100.0	100.0	100.0		
			達成率	%	100.0%	100.0%			
			目標						
			実績						
			達成率	%					
			目標						
			実績						
			達成率	%					
			目標						
			実績						
			達成率	%					

指標の分析	昨年に続き、新型コロナウイルス感染症の影響で、企業・団体等の研修会は、減少しています。登録型本人通知制度の登録数は目標を超えることができませんでした。小・中学校ではすべての学校が部落差別問題学習を扱うことができました。転任教諭や新任管理職のフィールドワーク参加率は、目標の達成ができました。
-------	---

<市民意識調査結果>

市民意識調査結果 (R3調査)	領域名	必要度	満足度	満足度
市民意識調査結果 (R3調査)	検討領域	2.40	2.03	
	令和3年度実施のアンケート結果では、「必要度」「満足度」とともに低く、「検討領域」に位置しており、施策や事業の内容について再考の余地があります。			
市民意識調査結果分析				昨年度の調査に比べて、必要度が僅かに上昇しています。部落差別解消推進法が施行されて、5年が過ぎますが、市民の必要度が低いという事は、部落差別の現状が十分に市民へ周知されていない結果と捉え、今後、一層の教育・啓発を進めます。

<次年度以降の課題>

令和4年度以降の課題	部落差別解消推進法が施行されて、5年が過ぎますが、結婚差別やインターネット上の差別がいまだに続いています。白杵市ではインターネットのモニタリングを行い、状況の把握に努めています。2019年度に行った「人権・同和問題に関する市民意識調査」では、58%の人が「人権・同和問題について今後も学習したい。」との結果が出ているため、今後も教育啓発に力を入れていきます。また、大規模講演会や研修会の実施方法について、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮した実施方法を十分に検討した上で、教育・啓発を進めていきます。
------------	---

<施策を構成する主な事務事業一覧表>

事務事業名	事業内容	担当課 ※実施した課を記入	課の重点 ※運営計画記載	事業費(単位:千円)			課長 評価	公共 5カ 年	他の 関連施策 コード
				R2年度 実績	R3年度 実績	令和4年 度年度 見込み			
1 人権・同和施策の企画立案	部落差別問題に関する講演会・研修会、各種啓発事業	部落差別解消推進・人権啓発課	○	5,433	4,646	8,878	-	○	
2 隣保館運営費事業	地域生活相談センター及び地区相談・地区研修・啓発事業	部落差別解消推進・人権啓発課	○	2,213	1,901	2,842			
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
合計				7,646	6,547	11,720			

<施策の今後の展開 ~担当課長評価>

進捗状況	新型コロナウイルス感染症は終息の気配が見えず、様々な啓発活動に影響が出ています。部落差別の解消の推進に関する法律が施行されて5年を経過していますが、インターネット上での書き込みなどまだまだ部落差別は解消していない状況です。2019年度に行った「人権・同和問題に関する市民意識調査」では58%の市民が「人権・同和問題について今後も学習したい」と答えています。今後は感染症対策を考慮した啓発方法の検討していく必要があります。	課長評価	最重点施策であり、来年度強化する
------	--	------	------------------

<施策の今後の展開 ~内部評価(内部検討会)>

※以降の評価は、令和3年度～令和5年度の3カ年に分けて実施予定。

実施年度	内部評価
令和5年度 予定	-

<白杵市行財政活性化推進委員会による外部評価:最終>

外部評価	評価のコメント
-	

<白杵市行財政活性化推進委員会を受けての市の取組>

--